

国土交通労組第一回青年交流集会

全国から一三八名が参加
東海建設支部からは三名
三名が参加しました。

阪神淡路大震災
当時に学び、今後へ

つどい まなび つながる場

国土交通労働組合は、七月一日(日)〜五日(祝)にかけて、神戸で全国から青年一三八名が集まり、第一回青年交流集会を開催しました。「つどい まなび つながる場」行こう!神戸」と題したネーミングのもと国土交通省に働く青年が全国から多数参加し、東海建設支部からも三名が参加しました。

初日は、ミニ運動会 汗を流しながら交流

初日は午後から神戸駅前
に集合、たすけあいの大切
さを知ろうと題して、「国
公共済会学習会」にはじま
り、「ミニ運動会」では、



狙いを定める伊藤青年部長

みんなで集まって大縄跳び
やドッチボールを行い汗を
流し、夕食交流会・ゲーム
大会等で盛り上がり神戸の
夜を楽しみました。



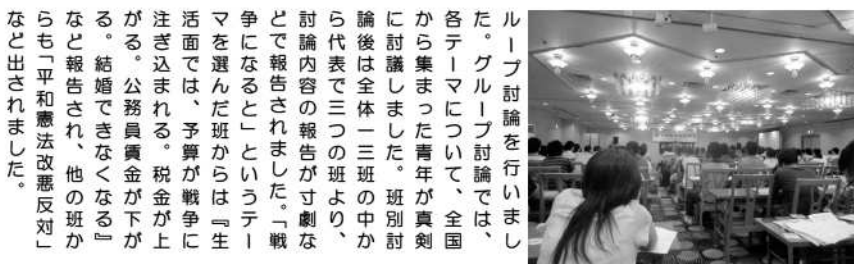
1日目お疲れ様夕食会

二日目は、近畿地方協
会副議長の西本さん(近畿
建設支部副委員長)より、
「阪神淡路大震災と公務労
働者」と題した学習会が行
われ、災害発生時の公務労
働者の役割と使命につい
て、当時の状況を交えなが
ら講演頂きました。

笑いを交え、憲法を まじめに考えた時間

その後、今回の目玉企画
である、R1グランプリの
最終予選に二回残ったこと
がある「ナオユキ氏」より、
漫談から始まり会場を笑い
の渦にした後、まじめな話
に戻り、憲法漫談を始めま
した。最後には憲法前文の
暗唱を披露し、終了後は記
念撮影しました。

一三班に分かれての グループ討論も開催



笑いながらも憲法9条
について勉強中!

その後、今回の目玉企画
である、R1グランプリの
最終予選に二回残ったこと
がある「ナオユキ氏」より、
漫談から始まり会場を笑い
の渦にした後、まじめな話
に戻り、憲法漫談を始めま
した。最後には憲法前文の
暗唱を披露し、終了後は記
念撮影しました。

グループ討論を行いました。
各チームについて、全国
から集まった青年が真剣
に討議しました。班別討
論後は全体一三班の中か
ら代表で三つの班より、
討論内容の報告が寸劇な
どで報告されました。「戦
争になると」というテ
ーマを選んだ班からは『生
活面では、予算が戦争に
注ぎ込まれる。税金が上
がる。公務員賃金が下
がる。結婚できなくなる』
など報告され、他の班か
らも「平和憲法改悪反対」
など出されました。

他省庁の仲間とも交流したい

参加者の感想!

I

今回の交流集会は、途中
移動で雨に降られるなどあ
いにくの天気でしたが、交
流集會自体はとても楽し
ましたと思う。特に一日目のド
ッチボールは、まだまだ
親しく面識がないメンバー
とも打ち解けることができ
、非常に良かった。ただ
欲を言えば一日目の最初に
行われた国公共済の勉強場
所が体育館で座って聞くこ
とになり、床の上で長時間
座るのは多少きつかった。

一日目の夜は、ドッチボ
ール等で交流を深めたメン
バーと夜の街で神戸タワー
等を見に行き、深夜まで神
戸の街を楽しんだ。

二日目は、昨日の夜多少
無茶をしたせいで、眠たい
ながらも各種勉強会に望
んだ。阪神大震災の体験談
のお話の時、まだ小学生
の自分が急用の為新幹線が止
まった神戸の街を歩いた記
憶がよみがえり、改めて震
災に対する恐怖を学んだ。
またナオユキ氏による演

説では、独特のしゃべり口
調で場を盛り上げる話から
憲法第九条に対する思いま
で様々な思いを語って頂い
た。

最後に行ったグループ討
論では将来の不安(主に結
婚生活について)グループ
メンバーと話しあい、その
結果をまとめた。

今回は国土交通省の組合
だけでしたが、他省庁の組
合も参加した青年交流集會
が行われるとより他の組合
とも交流が深められるため
可能なら開催して欲しいと
感じました。

K

組合に入っの初の参加
行事でしたが、参加人数が
一三〇人超とあっていたよ
り多人数であることに驚
き、参加当初は知り合いが
ほとんどいない中で右往左
往しておりました。

各イベントが進むにつれ
て同じ班となった皆さんと
の交流を深めていきまし
た。普段関わることのない
職種や他地域の皆さんとの
意見交流は大変充実したも
のとなりました。

グループ討論においても
自分より大分若い子がハツ
キリした意見を述べていた
り、自分と同世代の人が司
会進行・総括を行っていた
りと、学ぶべきところが多
分にある良い経験となりま
した。

今回の経験を仕事に生か
すべく努めてまいります。
今回は、東海建設支部か
ら、三名の仲間が参加しま
した。次回の取り組みには、
多くの仲間の参加をお願い
します。



参加された方、お疲れ様でした!参加出来なかった方
も是非次回行きましょう!